

陳 情 書 等

件 名

「対外的情報省」の設立の意見書を内閣官房長官に
提出についての陳情

「対外的情報省」の設立の意見書を内閣官房長官に
提出についての陳情

趣旨

今日の東アジアの情勢も、戦後の状況から激変し、北朝鮮は朝鮮戦争以降、日本人拉致事件を引き起こし、独裁体制維持の為、核、弾道ミサイル開発を推進しております。

経済大国中国は、台湾問題では一つの中国の政策を掲げ、台湾統一の武力侵攻も否定はしていません、又我が国とは、尖閣諸島の領土問題を抱えています。

ロシアとは北方領土問題が未解決で、日露平和条約は未だ未締結です。この様な、東アジアの情勢は混沌としており、日本の国家と国民の安全保障に重大な影響を及ぼしています。

この為、「対外的情報省」を設立し、アメリカを中心とする民主主義国家と連携し、東アジアの情勢を把握、軍事情報を共有する事です。宇治市議会は「対外的情報省」の設立の意見書を内閣官房長官に提出して下さい。

項目

- 1, 国際状況の激変に、我が国が対処するには、「対外的情報省」を設立する事が肝要と考えます。宇治市議会は「対外的情報省」の設立の意見書を内閣官房長官に提出して下さい。

令和4年5月10日

宇治市議会議長

堀 明人 様

社会の歪を鋭く追及

政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」

代表 加藤 克助

〒

